

**猛暑が続いた夏休みが終わり、2学期が始まりました**

校長 村山 孝

1学期は7月半ばあたりから、猛暑の日々が続き、8月に入っても猛暑は続きました。昔に比べ、夏の気温がとても高くなっている感じがしています。保護者の皆様におかれましては、夏休み中のお子様の熱中症対策等の健康管理、日頃の生活などお疲れ様でした。

さて、本日から2学期が始まりました。2学期は、1年生の移動教室、文化祭などの学校行事や様々な教育活動が予定されています。特に、3年生の皆さんは就労に向けて、緊張しながら現場実習を行っていきます。また、部活動も大会や発表に向けて活動がますます盛んになってきます。生徒の皆さんは期待と不安をもって、様々な学習や活動などを一生懸命に頑張っていくと思われまます。生徒の皆さんの目標が達成できるように、学校が一体となって進めていきます。

9月に入りましたが、厳しい残暑が続くとこの予報も出ています。本校では引き続き、熱中症対策を徹底し、安心・安全な教育活動進めてまいります。2学期も本校の教育活動に対して、御理解・御協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。

◇◆◇◆◇関東大震災から100年◇◆◇◆◇

今から100年前、1923（大正12）年9月1日（土）正午前に東京都及び神奈川県中心とした関東地方に大きな地震（震度6）が発生しました。東京都は大きな被害があり、多くの尊い命が失われてしまいました。

関東大震災から100年たった今、東京は近代化が進み、生活も大きく変わり、災害対策が進んでいます。また「東日本大震災」の経験の中で生まれた災害対策を受けて、保護者の皆様も様々な対策を各御家庭で行われていると思います。しかし、大地震の恐ろしさは変わりません。

7月の終業式の日発行した「学校だより」では「自助」についてお伝えしました。大災害が起きますと、消防署などの助けが必要となります。しかし、消防隊はすぐには来てはくれません。災害時には「自助」がポイントになります。関東大震災後、100年たった今、お子さん、家族などの災害対策をもう一度、考えてみても良いと思います。

「東京都防災アプリ」35

東京都では、様々な防災対策を行っています。「東京都防災アプリ」もその一つです。このアプリの中には、様々な情報があります。その一例を御紹介します。

〈発災時のNG行動〉

- (1) ガスに引火して爆発する危険があるので、火（ライター、マッチなど）をつけない。
 - (2) 火災の危険があるので、ブレーカーは上げて、通電させない。
 - (3) 火災や爆発の危険があるので、電気のスイッチに触れない。
- ※(1)～(3) 関東大震災では、火災で多くの方が亡くなっています
- (4) 閉じこまれる危険があるので、エレベーターは使わない。
 - (5) 電話回線がパンクするので、発災直後に不要不急の電話の使用は控える。
 - (6) ケガをする危険があるので、部屋の中を裸足で歩かない。
 - (7) ケガをする危険があるので、救出活動はひとりではなく複数で行う。
 - (8) 緊急車両の通行の妨げになるので、避難に車は使わない。

その他の情報等につきましては、「東京都防災アプリ」を御確認ください。

～☆～☆～☆～☆～魅力ある学校を目指して～☆～☆～☆～☆～

「図書館」「図書コーナー」まだまだ現在進行中！！

昨年4月に読書活動・言語活動の取組みに対し「文部科学大臣賞」を受賞してから1年、図書委員や事務補助班の生徒の協力のもと、今年度も6月から図書館を開館しました。

2年の職業の授業では、図書館にあるLLブック（読みやすさを追求した図書）『仕事に行きます 図書館の仕事祥弘さんの1日』を使用して、生徒たちが仕事への理解を深めていました。また、昼休みには、図書館で借りた本『結末が分かると怖い本』を開いて「これどこが怖いかがちょっと分からないです。」と、先生と一緒に、本を読み解いていく姿もありました。本により理解が深まったり、読み解く面白さを味わったりする姿は、とても素晴らしいですね。

今年度は新システム導入（バーコードで貸し出し管理ができる！）のため、夏休み中の貸し出しはできませんでしたが、9月にはまた開館します。御来校の際は、是非、ご覧いただけたら幸いです。よろしくお願いいたします。

～図書館の様子～



企画展示

今週の名言コーナーもできました

<おしらせ>

1 生活指導部より 「令和5年度「防災週間」及び「津波防災の日」について」

9月1日は「防災の日」、8月30日から9月5日まで「防災週間」です。また、平成23年6月に「津波対策の推進に関する法律」が制定され、広く津波対策についての理解と関心を深めるため、11月5日が「津波防災の日」と定められました。今年度は関東大震災から100年という節目の年にあたり、防災に関するイベントも各所で企画されています。本校でも、9月に総合防災訓練、10月は大型台風、11月は風水害を想定した避難訓練を実施いたします。理科や社会の授業でも様々な災害や防災について学習をしております。御家庭におかれましても、「家にいるとき、大きな地震が起こったら?」「登下校中に災害にあったら?」「家の近くの避難所はどこにあるか?」「我が家の備蓄品は?」など、防災について話題にしてください。

2 進路指導部より

【新規施設開所について】

小平市内で、令和5年12月に新規事業所（自立訓練(生活訓練)、就労移行）が開所されます。都の認可の関係で開所は12月ですが、見学可能です。

2年間の自立訓練で社会生活に必要な基礎的な力（ライフスキル）を育て、それらを基盤に2年間の就労移行で就職支援を行っていきます。もちろん自立訓練、就労移行のみの利用等も可能です。

(社福)平心会 フェアコネクト		自立訓練 就労移行	定員	14名 6名	利用者数	—	来年度予定	数名
代表者	所長 高見 和宏	〒187-0002 小平市花小金井 4-33-5 TN ホワイトビル1F			TEL: 042-452-5396 FAX: 042-452-5397			
実習 担当	所長 高見 和宏	見学	応相談		他市受入	応相談		
		任意実習	応相談					
作業 内容	自立訓練：ワークサンプルでの軽作業、ライフスキル（身だしなみ、健康管理、金銭管理、対人コミュニケーションなど）についてのカリキュラム 就労移行：ワークサンプルでの軽作業、PC操作、個々に応じた就職支援 ※自立訓練で社会生活能力を育てた上で、就労移行への移行をしていくことができる。							

花小金井駅よりバス5分【花小金井五丁目バス停】すぐです。御興味のある方は、パンフレットなどもありますので、担任をとおして進路指導部へお問い合わせください。

【B型福祉事業所利用のための「就労アセスメント」について】

3年生の生徒で、卒業後、「就労継続支援B型事業所」に通所する場合は、受給者証の暫定支給を受けて居住市の就労移行支援事業所で就労アセスメント（短期間の現場実習のようなもの）を受ける必要があります。該当者へ個別に手続き等をお伝えしていきますので御承知おきください。

(参照：進路の手引き P.12)

3 夏季休業中の教員研修実施状況について

今年度も障害特性の理解や、指導方法について専門の方から御助言いただきました。日頃の教育活動に活かしていきたいと思っております。

【学校保健委員会 講演会】

7月28日（金）

内容：「精神科の薬について」

講師：木村 一優 氏（多摩あおば病院 精神科医）

【支援部 研修会】

7月24日（月）

内容：「知的障害・発達障害の理解と合理的配慮について」

講師：太田 千瑞 氏（東京成徳大学非常勤講師 臨床心理士 公認心理師）

【研究部 講演会】

7月31日（月）

内容：「学びに向かう心と体を整える

～日常生活や授業で使えるアクティビティ～

講師：太田 千瑞 氏（東京成徳大学非常勤講師 臨床心理士 公認心理師）

8月29日（火）

内容：「日常生活の中での正しい姿勢や動きの習得」

講師：笹田 哲 氏（神奈川県立保健福祉大学大学院教授 作業療法士）

8月30日（水）

内容：「構造化」について～スケジュール～

講師：齊藤 宇開 氏（TASUC代表取締役）



【進路指導部 教員向け研修会】

8月28日（月）

内容：「育てたい生徒像～ビジネスマナーから学ぶ～」

講師：森山 舞 氏 小笠原 まち子 氏（株式会社パソナハートフル、東京都就労支援アドバイザー）

